



平田直巳ごあいさつ 地域の皆様からいただいた声を活動の原点に



磐田市議会議員
平田 直巳

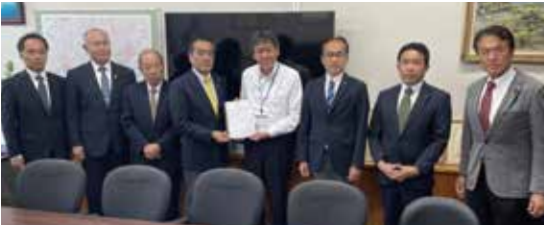
昨年9月の台風15号に続き、6月2日の台風2号でも磐田市に大きな被害をもたらしました。被災された方々には心よりお見舞いを申し上げます。

磐田市では災害発生の翌3日にはいち早く災害救助法が適用され、職員による現地調査や相談窓口が開設されました。さらにその翌4日には、ボランティアセンターが開設され、市の早期の対応とボランティア、消防団等の多方面から多くのご支援・ご協力をいただきましたことに、深く感謝申し上げます。私も災害復旧のお手伝いをする中で、安心安全は最優先で取り組んでいかなければならないと痛感しました。そして、6月19日には、私が所属する会派・せいわ会で川勝知事宛てに「磐田市におけ

る豪雨災害に関する要望書」を提出し、被災箇所の再発防止対策と早期復旧、河川や道路などの公共インフラの災害対策強化、被災された市民への手厚い支援等を要望しました。

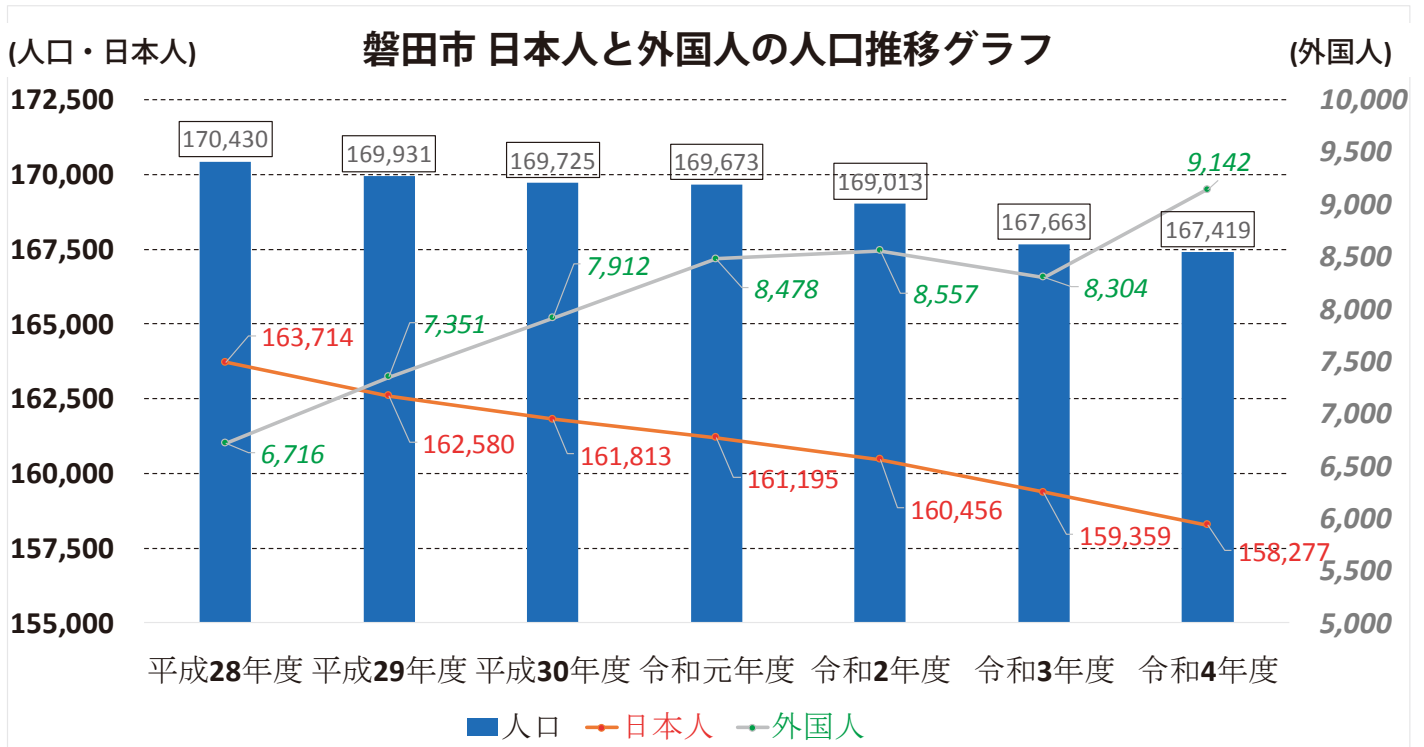
さて、磐田市には、303の自治会と23の地域づくり協議会があります。人口減少・少子高齢化により、地域課題を一つの自治会で解決していくのが難しくなっています。その解決策として小規模多機能自治の考え方が全国的に広がりつつありますが、地域の特性に合った体制づくりが必要であり、幅広い年代の皆さんと共に考えていく必要があると思っています。私も昨年より他市の先行事例を勉強しながら、ファシリテーター(より良いゴールに導く進行役)としての活動も始めています。

引続き市民の皆さんの声を聞き、どう解決していくかを考えて、将来にわたって安心・安全に暮らし続けることができる磐田市を作っていけるように活動してまいります。



せいわ会メンバーとともに「磐田市における豪雨災害に関する要望書」を川勝知事宛てに提出

1. 磐田市の日本人と外国人の人口について、平成28年度から令和4年度までの推移をグラフにしました。



磐田市の人口は、この6年間で3,011人が減少。その中で日本人は5,437人減少し、外国人は2,426人増加しています。全体の人口は減少傾向にあります。特に日本

人の減少が顕著です。交流人口を増やし、移住・定住を促していくとともに、外国人とどのように共生していくかに、しっかりと取り組んでいく必要があります

2.活動報告(令和5月1月以降)

(1) 令和5年2月定例会 2月15日～3月22日 (36日間)

- 令和5年度 施政方針(草地市長)
- 令和5年度 一般会計予算の審査 701億1千万円
- 令和5年度 事業会計予算の審査 375億6,967万3千円
- 令和5年度 特別会計予算の審査 320億2,593万4千円
- 一般会計補正予算(第10号)の審査 780万円
 - ① マイナポイント利用環境整備事業
 - ② 送迎用バス安全装置設置委託料 他
- 一般会計補正予算(第11号)の審査 ▲16億4,149万円
 - 決算見込みによる減額 他
- 一般会計補正予算(第12号)の審査 2億4千万円
 - 磐田市電子プレミアム商品券事業
- 特別会計及び事業会計補正予算の審査
- 条例の制定(11項目)の審査 他

(2) 令和5年5月臨時会 5月18日～5月25日 (8日間)

- 議長の選出…鈴木喜文議員を選出
- 副議長の選挙…岡 實議員を選出
- 各委員会委員の選任
- 一般会計補正予算(第1号)の審査 6億3,533万2千円
 - ① マイナポイント利用環境整備事業(国庫支出金)
 - ② 電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援給付金給付事業(国庫支出金)
 - ③ 子育て世帯生活支援特別給付金給付事業(国庫支出金)

(3) 令和5年6月定例会 6月15日～7月12日 (28日間)

- 一般会計補正予算(第2号)の審査 2億7,466万5千円
 - ① 台風第2号に伴う豪雨災害による被災者への支援等
- 一般会計補正予算(第3号)の審査 5,778万2千円
 - ① 令和4年度実績による国庫支出金の精算
- 一般会計補正予算(第4号)の審査 4億3,831万6千円
 - ① 新型コロナウイルスワクチン接種事業 3億3,085万1千円
 - ② 「書かない・行かない」窓口業務整備事業 8,225万5千円
 - ③ 政策推進事務(データに基づく行政運営のための分析ツール導入) 1,174万9千円
 - ④ 耐震7レカー普及促進事業他 1,346万1千円
- 病院事業会計補正予算 347万6千円
 - ① 検診予約システム導入に要する経費
- 条例の制定(4項目)の審査 他

(4) 総務委員会

- ① 委員会への各種付託議案審査
- ② 所管事務調査

(5) 広報広聴委員会 (副委員長)

- ① 議会だより「いわた羅針盤」の発行 (年5回)
- ② 議会報告会の開催

(6) 特別委員会

- ・「(仮称)健幸づくり及び地域医療条例」検討特別委員会

(7) その他:災害等対策会議、議員懇談会等

3.一般質問(R5/2月定例会)

質 身寄りのない(キーパーソン不在)の人が高齢になったり、病気になったりした場合の支援について、支払い能力がなく、かつ生活保護を受けていない人への支援の現状と課題を伺う。

答 キーパーソン不在の方の対応は例年50件程度。生活保護を受けていない低所得者の相談は年間10件程度あり、磐田市立総合病院からの相談が多いが、福祉課の総合相談の窓口がしっかり関わって対応していく。

質 市民が不登校児童の居場所に取り組んでいる方たちの支援について、市としてどのように考えているのかを伺う。

答 学校や教育支援センター以外に居場所を求めたいと考える子供や保護者のニーズ、動向等を確認する中で、どのようなことが行政として支援できるのか。居場所づくりを行っている団体等への支援や連携など様々な可能性について、調査・研究していく。

質 公共施設を地域活性化のために地域や民間が活用することについて、市の考えを伺う。

答 新たな財源確保のため、売却等を基本に進めていくが、運営コスト削減につながる効率的効果的な提案があれば、地域への貸し出しや民間活用なども検討していく。民間の方から提案があった場合は、その都度相談させていただく。

質 20～30代の磐田市への移住者数が減少していることについて、市として、この結果をどう受け止め、若者に魅力ある磐田市としていくのかを伺う。

答 令和4年1月から12月の20～30代の転入・転出の状況は、80人の転出超過。男性は72人の転入超過、女性は152人の転出超過となっている。女性にもっと磐田市に残ってもらえる施策を考えていく。また、中古物件建物リフォーム補助金等、移住関連の施策を見直すとともに、磐田市の魅力を若者に情報発信していく。

4.課題報告

① 海岸防潮堤整備事業について

令和8年度の完成(高さ12m)に向けて、工事が進められています。令和5年度は新たに市施工分として0.8kmが完成し、完成延長は延べ5.1km(全体の50.0%)となる予定です。

② 竜洋東小学校前の歩道橋の改修工事終了

歩道橋が新しく生まれ変わりました。これで通学の子どもたちも安心して登校できます。



竜洋東小学校歩道橋

③ 遠州大橋東(旧料金所付近)150号線バイパスのり面について

近隣の民家や畑に草が侵食しているため、対策してほしいとの依頼があり、舗装や防草シートにより対策していただきました。



遠州大橋東のり面の防草シート

④ 消防団員の待遇改善について

消防団員の災害や訓練出動時に万が一自己車両を運転中に事故に遭った場合、従来は自分の自動車保険を使わざるを得ませんでした。今回、市民の方からご提案をいただき、消防団活動における自動車保険を公費で賄うことになりました。

～ 磐田市に関する情報は「磐田市ホームページ」をご確認ください～



静岡県庁前にて

引続き「地域の声をカタチに」していく
取組を継続していきます。

平田直巳
(せいわ会)
昭和34年1月生
磐田市豊岡(旧竜洋町)

経歴 浜松日体高等学校、中央大学、エンシュウ(株)
旧竜洋町消防団元団長、
竜洋西小学校元PTA会長、竜洋中学校元PTA会長
磐田市まとい会理事、竜洋空手スポーツ少年団長、
日本空手協会竜洋支部長、日本空手協会静岡県本部理事



日々の活動はこちらから! 平田直巳facebook▶